

2021（令和3）年度 第4回祭り実行委員会 議事録

開催日時：令和4年1月30日(日) 14:00~15:00

開催場所：中中村集会所

出席者：まつり実行委員（幹事）：（上）安齋（委員長）・金田・小峰（中）伊藤・長尾
（下）安達、足立原、菅沼（御輿連）

町会五役：宮崎（会長）、岡田（副会長）、佐藤（会計）、山浦（上）、春山（中）、鈴木（下）、
國本（庶務）
：敬称略

司会：伊藤事務局長

記録：庶務 國本秀夫

○ コロナ・オミクロン株の感染拡大状況から参加者を限定して開催した。

1、どんど焼き実施に関する五役会での事前の協議内容報告

- ・「受付」と「預かり」の2つの看板を設置したが、受付の看板は不要だった。
- ・「どんど焼き会場」の表示看板が必要だった。→ ポスターを貼ればよかったのでは。
- ・記念品引換券の効果は？ → 有効だった。今後も継続すべきだ。
→ お祭りでも同様の会員サービスを考えたい。
- ・開始時間を早めたのはよかった。
- ・運営担当者が不在時に来られた方の為に、お飾り置き場を準備しておけばよかった。
- ・注連縄を張り巡らす四方竹を自立させるペグを事前に準備すべきだった。

2、どんど焼きの反省点について

- ・コロナ禍対応全般
 - 準備段階
受付の看板表記は「どんど焼き会場」という表記に変えても良かった。
竹を立てるペグは事前準備で所在を確認しておく。
 - 実施当日
コーンで場所を囲った事は、限られた人数での運営上、安全管理の面でも有効だった。
持ち込まれるお札や正月飾りの事前の分別が以前よりよくされていた。
紙袋に入れて持ち込まれる方が多かったが、今後紙袋は、安全面から持ち帰ってもらうべき。
 - その他苦情など
特に苦情は寄せられなかったが、今後の運営として、マイクでこれから開始するなどのアナウンスを行っても良いのではないか。

3、今後の祭り実施に向けて

次年度出来るのならば、よりよい開催とすべく意見交換を行う。

祭り実行委員会の体制充実

- ・今年の役員は次回の実行委員として活躍していただきたい。

- ・前年度の実行委委の方々もぜひ引き続き、委員としてご協力いただきたい。
- ・子供実行委員の新設はどうか（高校生、中学生、小学生）
 - 別枠で子供たちの意見をまとめる場を持つてもいい。
- ・ボランティア活動も学校行事に組み込まれているので、声掛けしては。
- ・小中学生には、参加しやすいメニューを準備して意見を出してもらったらどうか。
 - 例：踊りたい曲をリクエストする。
 - 盆踊りの定番曲にこだわらなくてもいいのではないか。
 - 組織等検討委員会でも同様の意見が出ていた。
- ・保育園・学童などに飾り付けへの参加を呼びかけたらどうか。
- ・子供に祭りのポスターの絵を募集したらどうか。
 - ポスターデザインコンテストはどうか。
- ・委員の確保について
 - 各班長さんからも実行委員に加わっていただくのはどうか。
 - 実行委員会設立の趣旨が町内会の役員の負担軽減が主目的だったので、班長さんの負担が増える方向に向かうと、役員のなりてや町内会会員の減少につながるのではないか。
 - 委員募集は町内会からの声掛けか自治会からの声掛けかという事も考える必要がある。
 - 委員会では、年をまたいで検討すべき事柄もあるので、継続してかかわっていただく事も重要。
 - 運営を経験した後のフォロー（委員継続の勧誘）も重要。
 - お祭りの企画に加わるメリットを伝えて、委員の一般公募を行ったらどうか。

踊り指導者の確保

- ・踊り指導の後継者候補の方には、現在の指導者から引き継ぎのお願いがされている。
- ・踊り手さんに負担がかからないように、プログラムに他の要素を入れることが必要。
 - よさこい連、こども会主催のメニュー 等
- ・他町内会への応援も、現状に合わせた形で一区連合での調整が必要。
- ・実行委員会形式の継続を考えて、次年度開催に向け早めに動き始める必要がある。
 - 次年度、コロナがどうなるかわからないが、準備はノウハウの伝承にもなるので本番が出来るかどうかは別にして4月くらいからやっておくべきではないか。
 - やぐらの鉄骨もペンキを塗る必要性のチェックが必要。
 - ← 開催時期まであと半年しかないので、準備も難しい部分があるのではないか。
 - 先に、コロナ禍で出来ることを考えて、それから準備をすべきではないだろうか。
 - 実施の方向として、どの様に実施するか議論を今年度中に考えておく必要がある。

次回委員会

次年度開催に向けた会議を3月6日（日）五役会の後14:00から開催する。
参加対象者は本日と同じ方とする。

以上